

Game Report

開催場所：日本経済大学 都築記念体育館

試合区分：第 24 回全九州大学バスケットボール戦

試合期日：2017 年 10 月 14 日(土)

試合時間：10:00～

主審：柿原 実

副審：藤城 真理

福岡教育大学	● 7 6	15	—1st—	22	○ 7 9	東海大学九州
		14	—2nd—	14		
		24	—3rd—	16		
		23	—4th—	27		

第 1 ピリオド

試合序盤、東海大は# 10 井上と# 9 豊田の高さを活かしたインサイドプレーで点数を重ねていく。それに対し、福教大は# 12 森川、# 17 中尾、# 5 浅田の 3 P シュートが連続でリングに吸い込まれる。しかし、東海大# 9 豊田のリバウンドシュートが大事な場面で存在感を見せ、15-22 東海大リードで第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

両チーム共シュートに繋がられてはいるがリングに嫌われる。この均衡を破ったのは福教大# 17 中尾。確実なシュートで徐々に点差を詰めていく。しかし、追い付かれない東海大も# 6 山下のドライブ、# 9 豊田のインサイドプレーで意地を見せる。お互いに点数の取り合いで、29-36 と点差そのまま、東海大 7 点リードで前半を終える。

第 3 ピリオド

福教大# 5 浅田、# 17 中尾、# 12 森川の怒濤の連続得点で同点に追いつく。しかし、東海大# 9 豊田のインサイドプレーで逆転を許さない。残り 7:15、流れを変えるべくベンチに下がっていた東海大の大黒柱# 10 井上を投入するが、# 12 森川の鋭いドライブに加え、前半から好調だった# 17 中尾の 3 P シュートで、残り 3:00 の時点で同点に追い付く。東海大# 10 井上のインサイドプレーも輝きを魅せるが、福教大の猛迫により 52-53 福教大リードで第 3 ピリオド終了。

第 4 ピリオド

第 3 ピリオドの勢いそのままに# 12 森川、# 9 竹内の連続得点で点差を 5 点差とし、東海大はたまたまタイムアウト。タイムアウト明け、東海大# 10 井上が奮起し、開いていた点差を詰めるも、福教大# 17 中尾の気迫あるプレーで逆転を許さない。残り 30.7、東海大 2 回目のタイムアウト明け、# 10 井上のアシストにより# 6 山下が劇的な 3 P シュートを決めて点差を開け、結果 76-79 で東海大が勝利し、インカレ出場を手にした。